

令和7年度 びわこ学院大学短期大学部

数理・データサイエンス・AI 教育プログラムの自己点検・評価

びわこ学院大学短期大学部における「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム」の自己点検・評価を実施した結果を以下に示す。

【実施体制】

運営責任者	教務部長
実施組織	教務委員会
プログラムの改善・進化・自己点検	教務委員会

【自己点検・評価の結果や今後の取り組みなど】

＜学内からの視点＞

自己点検・評価項目	評価の結果や今後の取り組みなど
教育プログラムの履修・修得状況	令和7年度の本プログラムの履修者数は34名で、修得者数は34名（修得率：100.0%）であったが、前年度の履修者数（40名）から少し減少した。また、健康福祉コースでは前年度同様に履修者数が0名であったので、次年度も健康福祉コースの学生に対して、プログラムへの参加を促す必要がある。
学修成果	本プログラムの構成科目である「リテラシー入門」と「パソコン活用Ⅱ」の成績評価は、前年度と同様にどちらも平均点が約80点であった。今後は更なる平均点の向上を目指していくため、両授業の内容の見直しをする。
学生アンケートによる学生の内容理解度	本プログラムの構成科目である「リテラシー入門」と「パソコン活用Ⅱ」の授業評価アンケート結果は、内容理解度の設問で4段階評価のどちらも前年度と同様に平均3以上であった。今後もこの結果を維持していく。
学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度	本プログラムの構成科目である「リテラシー入門」は、本学の卒業必修科目であり、また、同じく「パソコン活用Ⅱ」においてもキャリアデザインコースでは卒業必修科目であるため、アンケートに他の学生への推奨度を問う設問は設けていない。しかし、「総合的に判断すると、この授業を受講して満足した。」の設問では、4段階評価の平均が「リテラシー入門」は3.28、「パソコン活用Ⅱ」は3.70というどちらも評価3.0を超える高い評価を得た。今後は、多くの学生にAI等に興味・関心を持ってもらえるように授業を工夫し、他の学生へ推奨してもらえるような授業となるように改善していく。

全学的な履修者数・履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	本プログラムの構成科目である「リテラシー入門」は、本学の卒業必修科目なので、全学的な履修対象科目である。しかし、健康福祉コースでは、もうひとつの構成科目である「パソコン活用Ⅱ」は選択科目であるため履修率が低いので、その対策として、在学生の履修ガイダンスなどを通じて、数理・データサイエンス・AI 認定プログラムの説明を積極的に実施していく。
------------------------------	--

＜学外からの視点＞

自己点検・評価項目	評価の結果や今後の取り組みなど
教育プログラム修了者の進路・活躍状況、企業等の評価	令和 6 年度からの実施であり、令和 7 年度に最初の教育プログラム修了者が卒業したばかりである。そのため、今後卒業生に対する企業等の評価について、卒業生の就職先にアンケートを実施予定である。
産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等の検討	上記のとおり、今後、本学の数理・データサイエンス・AI 教育への期待や要望などについて、アンケートやヒアリングを実施し、教育プログラム内容・手法等の検討を行う予定である。 そのため、アンケート実施に向けた協議を前年度より継続中である。